

第1回検証会議意見整理表

資料1

			意見の概要	事業に対する評価及び意見
				第2回会議
1	学校現場からの 声の聴取	古川委員	先生方は、この36項目を知っているのだろうか、という素朴な疑問がある。	
		庄司副会長	専門職の活用で困っているという声や、上手くいっている取組があるのに取り上げてもらえていない というような声が聴けるのではないか。	
		氏家会長	いじめ対応について、どのようなサポートをしていくべきかを今年の大きな柱にするため、学校規模 や課題を抽出しながら、先生方の声を聴いていきたい。	
2	SC、SSW、 さわやか相談員などの 専門職との連携	氏家会長	SCやSSWは、いじめの防止を考えたとき、重要なキーパーソンである。手厚くすることを考えてい くのは、この会議の職責の一つだと思う。	
		庄司副会長	SC、SSW、さわやか相談員などの専門職が、それぞれどう動いているかという共通認識があるのか どうか、連携をどのようにとろうと思っているのか確認したい。	
		齋藤委員	SCを活用して未然防止のための心理教育を充実させたい。	
3	S-KETを生かした対策	庄司副会長	S-KETへの相談に関する情報や報告から、教育委員会や市がどういう対策を行うべきなのかというよ うな検討が行われているか。	
4	アンケート調査 について	本図委員	学校独自のアンケート調査は、質問項目についても学校独自のものか。また、全市一斉の年一回のア ンケートとの違いは何か。	
5	生徒指導提要の改定 にあたって	本図委員	生徒指導提要の改訂版が出ることから、そのオーダーに沿いながら、今行われている事業を効率よく 行うという視点が必要である。	
6	情報モラル教育の充実	齋藤委員	指導したつもりだが、実はそれが子供たちの心に響いていないと、ネットモラルの調査結果から感じ た。ICT教育が推進される中、ネットモラルの指導がいじめ未然防止につながると考える。	
7	いじめ防止の効果周知	本図委員	市民の皆様に分かる形で、先生方が行っているいじめ対策の取組みが、いじめ防止にこれだけ効果が 上がっているということを伝えられるとよい。	
8	教育局、子供未来局 以外の部署の関わり	氏家会長	教育委員会や子供未来局以外の部署へ視野を広げる時期に来ているのではないか。	

※SC：スクールカウンセラー、SSW：スクールソーシャルワーカー